

薬の伝言板・・・お薬手帳



No.222 2016年5月
丸子中央病院 薬局

病院や薬局で「お薬手帳はお持ちですか？」と聞かれたことはありませんか？
今回はお薬手帳を上手に活用するにはどうしたらよいかお話ししたいと思います。



お薬手帳って何？

自分が使っている薬の名前・量・日数・使用法などを記録できる手帳です。
副作用歴、アレルギーの有無、過去にかかった病気、体調の変化などについても記入できます。

お薬手帳を持つメリットは？

「おくすり手帳」には、薬にかかわる記録・アレルギー・副作用などの情報が記入されます。
おくすり手帳があるとこんなメリットがあります。

1. 重複投与や相互作用の防止

他の病院・薬局に行く時や、市販の薬を買う時に「おくすり手帳」を提示すると、
医師・歯科医師・薬剤師があなたの服用中の薬を確認できるので、同じような
薬を重複して飲んでしまうことや、飲み合わせの悪い薬を飲んでしまうのを避
けられます。



2. 副作用の再発防止

過去に副作用が出てしまった薬などの体にあわない薬を記入しておけば、同じ薬が処方されるのを避
けられます。

3. 災害時や旅先での急病やケガ

災害時や旅先での急病やケガで、かかりつけの病院・薬局に行けない場合にも、
いつもお飲みの薬がわかるので大変安心です。



4. 質問や意見、要望などの手帳

薬の効き目や服用してからの体調の変化、医師・薬剤師に聞きたい事などがあったときに、すぐに「おく
すり手帳」に書き留めておき、次回の診察の際に役立てることが出来ます。

お薬手帳の内容



・処方内容

調剤日/調剤薬局名/処方せん発行医療機関名
/薬剤名/薬剤の用量・用法/日数/ジェネリック
医薬品か否かなど

・副作用歴

・アレルギー歴

・主な既往症

お薬手帳の使い方

お薬手帳は一冊にまとめましょう

飲んでいるすべての薬を「**一冊に**」記録することが大切です。
病院ごとや薬局ごとに、別々のお薬手帳を作らないようにしましょう。

医療機関・薬局へ行くときは忘れずに持っていきましょう

薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防止できます。
同じ成分でも違った名前のお薬の場合があるため、別名同成分のお薬を飲むことを防ぐことも出来ます。

一般用医薬品(市販薬)やサプリメントを買うときも記載してもらいましょう

よくない組み合わせ・食べ合わせが見つかることがあります。

アレルギーや副作用歴は必ず記録しましょう

同じ薬による副作用を未然に防ぐことができます。



2016年4月から、調剤薬局に初めて来たり手帳を持ってこなかったりした場合と、半年以内に処方箋と手帳を持ってかかった場合で、同じ薬局でも会計が異なることとなりました。

つまり、お薬手帳を持って同じ薬局に通うことで、支払いが安くなる場合があります。

医療機関を受診する際や薬局でお薬を受け取る際には、**必ず**お薬手帳を持参しましょう。

お薬を安心して服用できるように、お薬手帳を上手に活用してください。